

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふりーくらぶ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 3月 1日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日 ～ 2026年 3月 1日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	曜日ごと、およびグループ内の他事業所と、別々のプログラムを設定し、多様なニーズに応えられる体制を整えている。	5領域それぞれに対し特化できるよう、運動・感覚に対してはスポーツ活動、言語・コミュニケーションに対しては学習支援など、狙いを持ったプログラムを設定している。	現状のプログラムでの児童たちの成長を見ながら、より楽しめるものやより療育効果が高い内容を臨機応変に検討していく。
2	学校休業日を中心に積極的に外出活動を行い、普段できない体験を通して楽しんでもらいながら成長を促している。	緑地公園での運動、工場見学などでの学習など、内容をローテーションさせて飽きがこないよう毎月外出先を検討している。	行ったことのない外出先も積極的に試し、児童や保護者の反応も見ながら魅力的なスケジュールを発信していく。
3	多様な活動の中で児童同士のコミュニケーションを促し、社会の中でいろいろな人と関わっていけるよう訓練している。	学年や学校、趣味嗜好等が異なる児童同士でも仲良く遊べるよう、スタッフが橋渡ししながら輪を広げられるよう支援している。	児童たち同士でやりたいことを一緒に考えるなど、社会性の一環として自主性も育てていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が不十分である。	基本的には事業所のスタッフ・児童で楽しめるプログラムを提供している。	事業所の責任者同士や相談支援つてのつながりを生かし、合同イベント等、計画的・継続的な実施を検討する。
2	家族支援のうち、保護者同士が関われる機会を提供できていない。	保護者のお悩みやご相談に対しては個別対応がメインで、都度お伝えしている。	同じお悩みを持った保護者同士をつなげて不安を和らげてもらったり、うまくいった子育て方法を共有してもらったりするような、保護者会の実施も検討する。
3	訓練やマニュアル等、非常時に備え取り組んだり整備しているものはあるが、十分に認知されていない。	毎月の通信紙で活動内容をお伝えしているが、楽しい様子メインのお伝えになっている。	ホームページの更新を積極的に行い、日々の備えや活動について発信していく。